

いよいよ寒くなってまいりました。昨年秋から病院の開設準備で、水巻に来ていましたが、去年の今頃は非常に寒かった。今年は暖冬でしたが、いよいよ冷えてきましたね。しかも風がすごく強く飛ばされそうです。皆様いかがお過ごしでしょうか。

医療人はどういう気持ちで仕事をしているか考えたことがありますか？医師、看護師、技師など国家資格を持つ者だけでなく、病院には事務、厨房、清掃など学生時代に医療職に就くなど思ってもみなかった職員も大勢います。国家資格を持つ者が廃業して他の職に就くことは非常にまれですが、他の職員も医療職を去る者は少ないと思います。これはなぜか？病院職員ははつきり言って激務です。（特に当院のように救急を二十四時間行っている病院では少々変わり者でないと長続きしません。）話を戻しますが、医療は何が大変かと言いますと、人間が人間をみるという事に尽きます。人間の命は尊いし、いくら良い治療が為されても心がこもっていないと満足してもらえません。医療人はそういう事から全人格を以って患者さんに接しなければならず、やる気が無いとやっていけない職業です。そこには多大なる責任感、使命感が必ず、そこに犠牲心、ボランティア精神や真心、誠実さ、謙虚さ、優しさ、などありとあらゆる持てるだけの力を持って患者さんに接しなければなりません。職員はそれぞれ自己の持てる最大の心を以って業務にあたっています。激務であり、つらいこと、悲しいこともたくさん経験しますが、患者さんが元気になり、笑顔で帰宅される時の達成感、充実感、医療現場独自のものがあります。

さて十二月といえば忘年会。忘年会は年に一度でよいと思いますが、やはり今年も毎日やっています。アルコールは適度に飲めば体にも良いし、精神安定化作用もあります。また人間同士打ち解けて飲むのもいいし、悩みを聞くにも心を開かせる作用もあります。度が過ぎれば人に迷惑をかけたたり、肝臓を傷めたりします。心当たりのある方はいませんか？（院長！お前はどうなんだと言われそう？？ねえ、I先生！）職員旅行も冬の北海道、黒川温泉で終わりました。氷点下十五度でスノーボードをしたとか、聞くだけで体が震えそうですが、冬に何でまた寒い北海道に行くのかと思いますが、湯布院の山頂で氷点下ゴルフをした人もいるようですから、まあいいかとも思います???!!

第十一章。

